

第30回プログラミング・シンポジウムの開催にあたって

幹事長 辻 尚史

今回は第30回であるが特に何も特別なことはしないという方針が昨年の拡大運営委員会で決定され、通常のとおり開催準備となった。しかしながらやはり30年の歴史かと思うと格別の感がある。ところで、私が幹事長となって5年、また、このシンポジウムの事務が慶応工学会から情報処理学会に移行してから5年である。思えば事務局が変わるなか西村恕彦さんから幹事長を引き継いで、情報処理学会の中の特別な委員会としてこのシンポジウムの伝統をそのままに引き継ぐことを心がけてきたこの5年である。これ迄大過なくやってこられたのは、運営委員や幹事の諸氏を始めとする参加者各位の協力のおかげと感謝する次第である。

夏のシンポジウムは「卓上出版」と題して石田晴久さんが幹事となって、箱根の静雲荘で行われ61名が参加した。詳しくは報告集を御覧頂きたい。

昨年の夏の幹事のうち平賀君には改めて常任の幹事になって貰った。従って現在の幹事は、石田晴久(夏)、石畑清、紫合治、高木茂行、平賀譲、前野年紀の各氏である。

末筆ながら何時も変わらぬ御援助を頂いた沖電気工業、ジャステック、東芝、日本IBM、日本電気、日本ユニシス、日立製作所、富士通、三菱電機の各社に感謝の意を表す。

1989年1月

本 PDF ファイルは 1989 年発行の「第 30 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトに、下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載し、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間： 2020 年 12 月 18 日 ~ 2021 年 3 月 19 日

掲載日： 2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>